ボーリング柱状図

調　査　名	主要地方道 呉環状線外 測量設計業務委託(道路・河川・砂防維持修繕) 警固屋第2ドック横
事業・工事名	主要地方道 呉環状線外 測量設計業務委託(道路・河川・砂防維持修繕) 警固屋第2ドック横

ボーリングNo	5	1	3	2	2	4	3	3	0	0	2

シートNo　2

ボーリング名	No．2	調査位置	呉市警固屋八丁目			北　緯	34° 11’ 42.8001”
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所			調査期間	2019年 5月 15日 ～ 2019年 5月 24日	東　経	132° 32’ 29.8419”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH=+39.70m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 32°	使用機種	
総掘進長	5.00m					試錐機	東邦0－D	ハンマー落下用具	半自動モンケン
						エンジン	ヤンマーNFD－13	ポンプ	東邦BG－3C

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	39.30	0.40	0.40		シルト・砂混り礫	暗灰褐～黄褐	非常に緩い		φ=2cm以下の亜円～亜角礫を30%前後と，シルト分を10%前後含む，砂分が粗砂主体，表層0.10mは腐葉土。
1					強風化花崗岩	黄褐～淡黄褐			コア表面粗く，指圧で容易に礫～砂状に崩れる。深度1.79m以深は礫～岩片状コアを呈し，礫・岩片は硬質。一部では長石類の粘土化著しく，黄褐色を呈す。
2	37.70	1.60	2.00						
3	36.32	1.38	3.38		風化花崗岩	淡黄褐			礫～棒状コアで採取され，コア表面は非常に粗い。ハンマー軽打で砂～礫状に崩れ，礫分は硬質。一部の長石類は手揉みでシルト状に崩れる。
4	35.78	0.57	3.95		風化花崗岩	灰褐			最大L=11cmの短柱～礫状コア。深度3.60m～3.75m間では礫～岩片状コアを呈す。短柱状コアはコア表面滑らかで，割れ目の角度が約80°と50°～60°が認められる。
5	34.70	1.03	5.00		風化花崗岩	灰黄褐			概ね棒状コアで採取され，割れ目不明瞭，コア表面非常に粗く，ハンマー軽打で礫～砂状に崩れ，一部の長石類は手揉みでシルト状に崩れる。
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									

孔内水位(m)／測定月日

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	5	5	5	15／30	15
1.45					
2.15	13	19	18／8	50／28	54
2.43					
3.15	14	25	11／3	50／23	65
3.38					
4.10	50／9			50／9	167
4.19					
5.00	50／8			50／8	188
5.08					

原位置試験

深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				5／20
				5／21
				5／22